

## カナダの金融市場動向 Weekly Report

【2017年2月18日～2017年2月24日の推移】

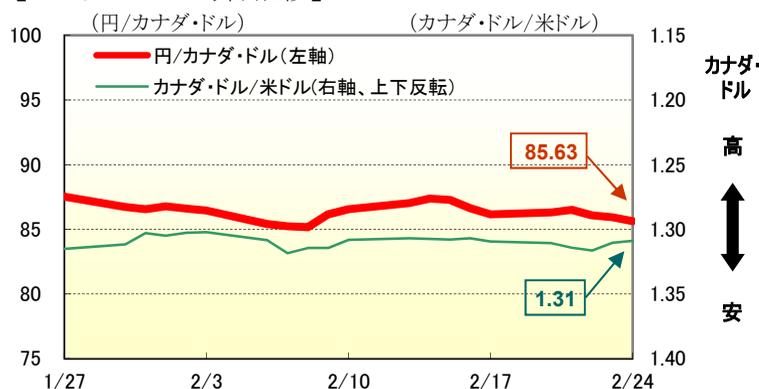
### 【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円相場は下落し、カナダ5年国債利回りは低下しました。

米国のトランプ政権による減税政策や財政出動に対する期待感がやや後退したことで、米国の金利が低下し、カナダの金利もそれに連れて低下しました。為替市場については、米国金利の低下から米ドル安となる一方、円高が進んだことで、カナダ・ドル円相場は下落しました。

カナダの小売売上高は市場予想を下回ったものの、CPI(消費者物価指数)は市場予想を上回るなど、カナダの経済指標はまちまちな結果となりました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2017年1月27日～2017年2月24日)



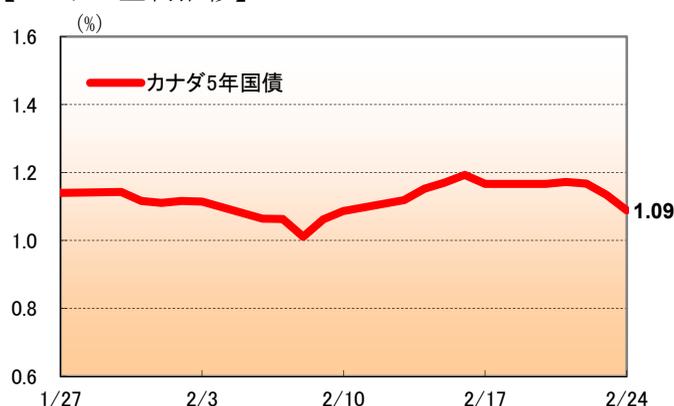
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

### 【2】今週の見通し

今週は、カナダで政策金利が発表されます。足元の堅調な経済指標に鑑みると、政策金利は据え置きが見込まれ、為替・金利とも相場への影響は軽微とみています。経済指標ではGDP(国内総生産)の発表が予定されています。

米国ではトランプ大統領の議会演説を控えており、減税、財政政策の詳細に注目が集まりそうです。ただし、閣僚人事承認に手間取っていることもあり、3月中旬の予算教書まで詳細が先送りされる可能性が高いとみています。その他、イエレンFRB(米国連邦準備制度理事会)議長などFRB高官の講演も多数予定されており、今後の利上げに関する発言にも注目です。

【カナダ 金利推移】 (2017年1月27日～2017年2月24日)



### 【3】主要経済指標

発表日	発表頻度	期間	指標名	データ	(参考) 前回
2/22	毎月	2016年12月	小売売上高(前月比)	-0.5%	0.3%
2/24	毎月	2017年1月	消費者物価指数(前年同月比)	2.1%	1.5%
3/2	-	-	政策金利	-	0.50%
3/2	毎月	2016年12月	GDP(前年同月比)	-	1.6%
3/2	四半期毎	2016年10-12月期	GDP(前期比、年率)	-	3.5%

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>